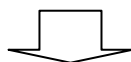


#### (4) 課題の改善に効果的な指導方法

ア 「まとまりのある英文を読んで、その概要や要点を把握する力を育成する指導」の具体的な事例

細部にこだわらず大きな文脈を意識しながら読み、読み取った情報を活用して自らの考えを発表させる指導。

(県立呉三津田高等学校定時制)



まとまりのある英文を読んで、その概要や要点を把握することに改善がみられた。

A問題において、「読むこと的能力」の通過率の変化が、県全体の変化に比べ10.8ポイント高い。

#### 【指導上の留意点】

- ・英文を読む前に、読み取るべき情報について指示することで、大きな文脈を意識しながら読ませて、概要や要点を把握させる。
- ・読み取った情報を活用して、英語で自分の意見を述べる活動を行うことを意識させることで、その英文を読む目的を明らかにした読み方ができるようにする。

#### 【活動の流れ】

- ①あるテーマに沿って書いている英文を読んで、概要や要点を整理させる。
  - ②①で読んだテーマについて、①で整理した概要や要点を基にして、英語で自分の意見を理由とともに話す準備をさせる。
  - ③クラスメイトと意見を交換させ、自分の意見と違ったり、新しい発見をさせてくれたりした意見をメモさせる。
  - ④①で整理した概要や要点と③でメモしたことを基にして、自分の意見を発展させ、書かせる。
- <例> (夢を叶えた人物3名が、その夢の実現の方法について述べている英文を読んで)
- Step 1 本文を読んで、夢を叶えるためにはどのようなことが大切だと言っているか英語でメモしよう。
- Step 2 あなたは、夢を叶えるためにはどのようなことが大切だと思いますか？その理由とともに発表しよう。辞書を引くなどしてキーワードを英語でメモして発表する準備をしよう。
- ☆I think ~, because....
- Step 3 クラスメイトの意見を聞いて、自分の意見と違ったり、新たに発見させてくれたりした意見を書きましよう。
- Step 4 今日の授業を通して、自分の夢を実現させるためにしようと思うことを、その理由とともに書きましよう。
- ☆I will ~, because....

#### 指導改善のポイント

- 英文を読ませる前に、細部にこだわらず大きな文脈を意識して読み取る指導を行ったり、読み取った情報を他者との交流を通して整理・統合することにより、与えられたテーマに係る自らの考えをより発展させ表現する学習活動を取り入れたりする。

イ 「まとまりのある英文を読んで、その概要や要点を把握する力を育成する指導」の具体的な事例

まとまりのある英文を読んで、その概要や要点を把握し、要約して話したり書いたりして表現する活動を取り入れた指導。

(広島市立安佐北高等学校)



まとまりのある英文を読んで、その概要や要点を把握することに改善がみられた。

A問題において、「読むこと的能力」の通過率が、県全体の平均に比べ11.8ポイント高い。

#### 【指導上の留意点】

- ・英文における段落の構成、ディスコースマーカーの働き、対比の構造といったことに留意して、英語の文章の概要や要点を読み取らせる。
- ・読み取った内容から重要である部分を抜粋させ、話すときに参考にするためのメモを作成させる。その際、文を書くのではなく、キーワードを中心にまとめることを確認する。
- ・本文の内容を要約してペアやグループで話す活動を取り入れる。
- ・本文の内容を要約したものを書き、ペアやグループで共有したり、添削したりする活動を取り入れる。

#### 【活動の流れ】

- ①教科書の本文を読んだ後、筆者の主張や重要な点に下線を引く。
- ②下線を引いた部分を参考にしながら、要約を話すためのメモを作成する。(メモは文ではなくキーワードとする。)
- ③1分間で本文の要約をペアで話す。
- ④1回目の要約でうまく話せなかった部分を修正してメモに書き加えて、2回目の要約をペアで話す。
- ⑤2回の要約をもとに、要約文を書く。
- ⑥書いた要約文をグループで共有し、意見の交換や、添削を行う。

#### 指導改善のポイント

- 概要や要点を正確に把握するために、読んだ内容について要約し、それをもとにペアやグループで情報や考えを交流し合う学習活動を取り入れる。

ウ 「伝えたい情報や考えなどを正確に書くことができる力を育成する指導」の具体的な事例

あるテーマについて、自分で体験した内容や調べた知識をまとめて、  
英文で原稿を作成し、クラスで発表する学習活動を取り入れた指導

(県立広島商業高等学校)



伝えたい情報や考えなどを、正確に書くことに改善がみられた。

A問題において、「書くこと的能力」の通過率の変化が、県全体の変化に比べ9.8ポイント高い。

#### 【指導上の留意点】

まとまった量の文章を書く助けとして、モデルを提示するだけでなく、ペアで考えてアドバイスを  
る活動を取り入れる。内容を考える→書く→発表する、という流れの中で、パートナーやクラス全体、  
教員からの助言を聞く機会を設ける。これらの助言を通して、相手に伝わるように正確に書くことや、  
内容を広げることを意識させる。

#### 【活動の流れ】 テーマ：Where did my breakfast / lunch / dinner come from?

- ① 活動の提示。ここでは自分のある一日の食事を一食取り上げて、それらの原産地をクラスメートに  
説明する活動をするを説明する。
- ② どの日・どの食事を取り上げるか決めて、ブレインストーミングさせる。(メモは日本語でも英語  
でもよい。) 思いつくことをできるだけたくさんメモさせる。
- ③ ペアになりお互いのメモを見ながら、加えたらよいと思う内容などをパートナーにアドバイスす  
る。
- ④ モデル文の提示・説明
- ⑤ モデル文を参照しながら、実際に英語で書いてみる。机間指導をしながら、話題を広げ、できるだ  
けたくさん英文を書くようアドバイスする。
- ⑥ 原産地を調べることを含め、英文を書いてくることを宿題にする。
- ⑦ 再びペアになり、書いたものを見せ合う。内容だけでなく、文法の誤り等できる限りお互いで指摘  
しあう。
- ⑧ 多く見られる文法的誤りを全体で共有する。全体で質問を受け付ける。
- ⑨ 全体で発表する。
- ⑩ 特に印象に残った発表を挙げさせ、どこがよかったかを共有する。さらにどうすればもっとよくな  
るかを話し合う。
- ⑪ 原稿を提出させて、添削して返却する。教員から、クラス全体の良かった点や文法的誤りなどの改  
善点を伝える。

#### 指導改善のポイント

- 自分で体験した内容や学んだことについて、相手に正しく伝わる  
ように正確に英語で表現するにはどうしたらよいかを、ペアやグル  
ープでお互い助言しあいながら考え、発表する学習活動を取り入れ  
る。

エ 伝えたい情報や考えなどを整理して理由とともに書く力を育成する指導」の具体的な事例

意見文の論理構成の特徴を理解し、1パラグラフ程度の英文を段階的に書かせる学習活動を取り入れた指導。

(県立安西高等学校)



伝えたい情報や考えなどを整理して、理由とともに書くことに改善がみられた。

A問題において、「理由とともに書くこと的能力」の通過率の変化が、県全体の変化に比べ1ポイント高い。

#### 【指導上の留意点】

- ・ 意見文の論理構成の特徴を理解させるために、主題文、支持文、結論文のパラグラフで構成されている英文と、意見が羅列してある2種類の英文を提示し比較させることで生徒自身に英語の論理に気付かせる活動を行う。
- ・ ペアやグループなどの様々な活動形態を取り入れ、ブレインストーミングをさせたりアウトラインを作成させたりすることで、与えられたトピックに対する考えを深める。

#### 【活動の流れ】

- ① パラグラフ形式で構成された英文と、意見が羅列してある2種類の英文を比較させ、意見文の論理構成の特徴をグループで話し合わせて気付きを共有する。
- ② 生徒にとって身近で現実的なトピックを設定し、提示する。
- ③ 与えられたトピックに対するブレインストーミングをさせ、ペアで共有させる。
- ④ ブレインストーミングで出たアイディアに基づきアウトラインを作成させ、書く内容を整理させ、グループで共有させる。
- ⑤ ①の活動で理解したパラグラフ構成のポイントを踏まえて、実際に意見文を英語で書かせる。
- ⑥ グループ内で互いの英文を読み合い、評価表に基づいて評価させたり気付きを話し合わせたりする。
- ⑦ グループ内で評価させたものに基づいて再度英語で書かせる。
- ⑧ 生徒が書いたものは回収し、後日全体でフィードバックする。

#### 指導改善のポイント

- 意見文の論理構成の特徴を生徒自身に気付かせ、それを踏まえて伝えたい情報や考えなどを整理してパラグラフ形式で書く学習活動を取り入れる。